

大阪損保革新懇ニュース

NO. 15
99・10・22

大阪損保革新懇事務局 〇六(二三二)一〇九五
大阪市中央区道修町三の三の10
大阪屋道修町ビル5F 道修商事(株)内

「大阪損保革新懇」第2回総会アピール

結成2年目、仲間を増やし活動の飛躍に奮闘しよう

みなさん！

私たちは今日ここに、「大阪損保革新懇」第2回総会を多くの仲間の出席のもと開催できたことをお互いに喜び合いたいと思います。私たちは昨年一〇月一六日、一八〇名の仲間とともに結成総会を開催しました。全国で五二〇番目、大阪では八七番目の「革新懇」でした。

あれから一年、私たちは「新参」革新懇ながら、日本と大阪の革新懇運動の一員として力一杯奮闘してきました。

しかし、私たちを取り巻く情勢はますます厳しさを増しており、一層の革新懇運動の広がり強化を痛感します。

一昨年の総選挙、昨年の参院選、今春のいっせい地方選挙で自民党は連続して大きく敗北しました。多くの国民が政治・経済のあらゆる面で行き詰まった自民党政治に愛想をつかせ、「政治を変えなくては」の意思を表明しました。

しかし自民党は自公体制で1年ぶりに衆参両院で過半数を得たのを機会に「数の論理」を振りかざし、悪法を連続

強行してきました。次いでいま「憲法調査会」設置の国会法改悪、衆議院定数の削減、政府税調の「消費税」増税答申

など日本の平和・民主主義・平和憲法の根幹にかかわる攻撃をかけてきています。

大企業のリストラや中小企業の倒産による完全失業率は毎月記録を更新し、中でも近畿・大阪の雇用問題は益々深刻

になっています。国民は有効な雇用対策を待っていますが、政府は新リストラ策支援、労働者派遣法改悪など一層の雇

用不安をつのらせています。介護保険の実施を来年四月に控え、多くの国民は不安と不満を持っています。

食糧危機、農業破壊、環境汚染、学級破壊、自治体財政危機などに対しても多くの国民は自民党政治を批判し、自民

党支持基盤の崩壊が進んでいます。

私たちが革新の側に立つ一員として、きたるべき総選挙では自公体制にきっぱりと審判を下して、「平和・民主主

義・生活向上」の革新三目標実現をめざす革新・民主勢力の前進のために奮闘しようではありませんか。

みなさん！

「金融ビッグバン」がますます進行しています。

先般、第一勧銀・富士・日本興銀三行の経営統合に向けた金融持ち株会社の設立が明らかになりましたが、狙いは店

舗の統廃合と人員の削減です。今般、またまた日本生命とさくら銀行の業務提携が発表されました。

大手企業が生き残りをかけて既存のグループを越えての企業間の再編・提携・強化、金融異業種や外資との提携、外

資による買収・支配など枚挙にいとまがありません。

しかし、それらのもたらすものはそこで働く労働者への一層の雇用不安・リストラ・労働条件切り下げであることも

明らかです。危機打開どころか、今日の深刻な不況とリストラを一層激しくする恐れにつながります。

いま、損保経営者は危機感をあおり、企業の生き残りを強調し、組織・店舗・資金・臨給・物件費・人事制度・労働

時間などすべての面での「効率化」「合理化」を進めようとしています。今回のシグナ社の希望退職募集強行はその最

たる攻撃です。

激動の金融情勢のもと損保業界でも劇的な変化や予想もできない出来事が起こり得る情勢なのかも知れません。

私たちは、損害保険産業が真に国民の生活の安全と安心に役立つことを願っています。

私たちは、損害保険産業の原点と誇り：万が一の災害のために補償機能の担い手：で仕事をしたいと思っています。

したがって私たち「大阪損保革新懇」は、損害保険のすべての労働組合と組合員が損害保険で働くすべての人たちの

雇用と労働条件を守り、損害保険産業の民主的な発展に努力・奮闘されることに協力・共同していきます。

また私たち「大阪損保革新懇」は、国民・市民の立場から年金・社会保障・医療・介護・平和・核廃絶・教育・食料

・環境などの広範な市民的課題・要求に取組み、住民・国民本位の社会実現をめざし努力していきます。

みなさん！

私たちは今日から結成二年目の活動に入ります。まだまだ多くの弱点や課題を抱えています。その思いと決意は高

いという自信をもち、すこしづつ着実に前進を図っていきましょうではありませんか。

一人でも多くの仲間が、この革新懇運動に参加されることを心から呼びかけます。

一九九九年一〇月八日

(二十一世紀の平和・民主主義・損害保険産業の民主化をめざす大阪損保革新懇話会)

大阪損保革新懇第2回総会